

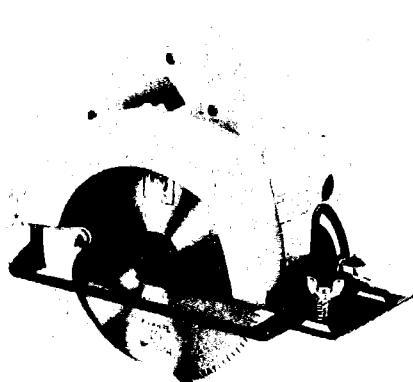
# 電気丸ノコ フレーキ付丸ノコ

取扱説明書

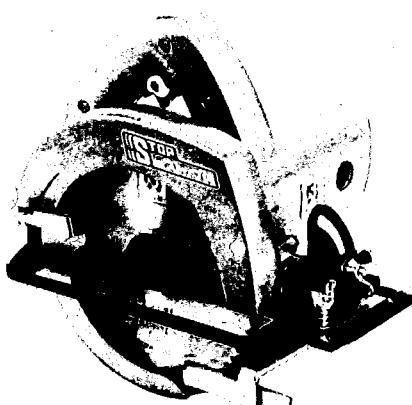
W-55PA, 55DA, 55DS  
W-66, 66D



リョービ



W-55PA



W-55DS



W-55DA



W-66



W-66D

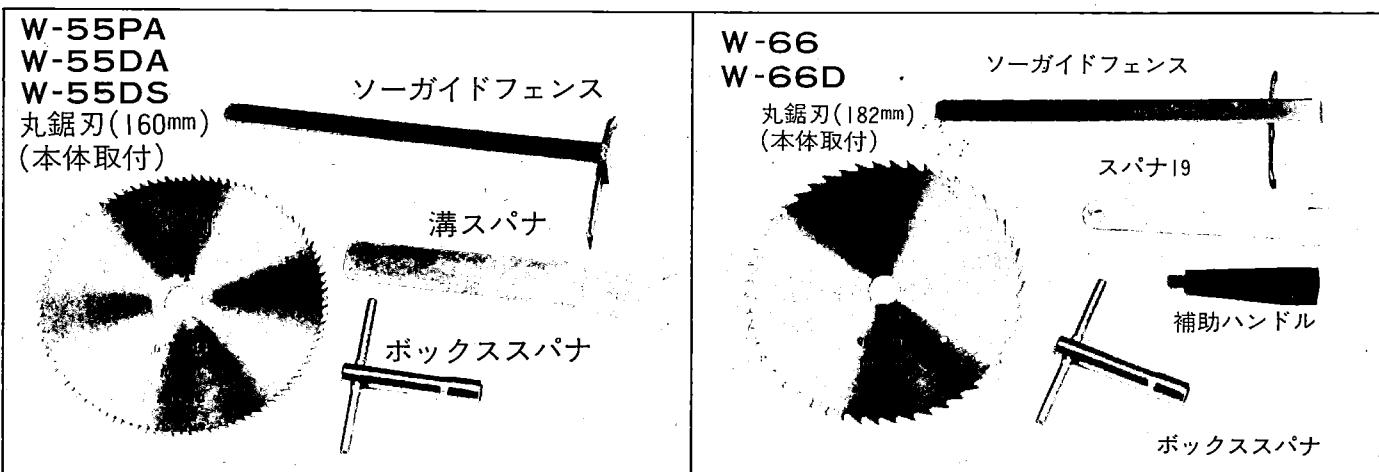
ご使用前に本取扱説明書をよくご覧の上ご使用下さるようお願いいたします。

この度は、当社製品をお買い上げ下さいまして誠にありがとうございます。ご使用前に必ず本取扱説明書をよくご覧の上、適切な取扱をして能率を上げ末永くご愛用下さいますようお願いします。

## ●用途

- 各種木材の切断
- 石材、ブロック、レンガ、タイル、スレート等の切断（特別附属品、切断砥石使用）
- ミゾホリ加工（特別附属品、ミゾホリカッター使用）

## ●通常附属品



仕様表	W-55PA	W-55DA	W-55DS	W-66	W-66D
電圧	100ボルト	100ボルト	100ボルト	100ボルト	100ボルト
電流	6.7アンペア	6.7アンペア	6.7アンペア	8アンペア	11アンペア
毎分回転数	4,000回転	4,000回転	4,000回転	4,000回転	4,900回転
最大切込み深さ	56ミリ	56ミリ	56ミリ	64ミリ	64ミリ
傾斜角度	0~45度	0~45度	0~45度	0~45度	0~45度
丸鋸寸法	160ミリ	160ミリ	160ミリ	182ミリ	182ミリ
重量	2.6キロ	2.6キロ	2.6キロ	3.9キロ	4.7キロ
その他	回二重絶縁	—	—	回二重絶縁	—

## ●ご使用前に

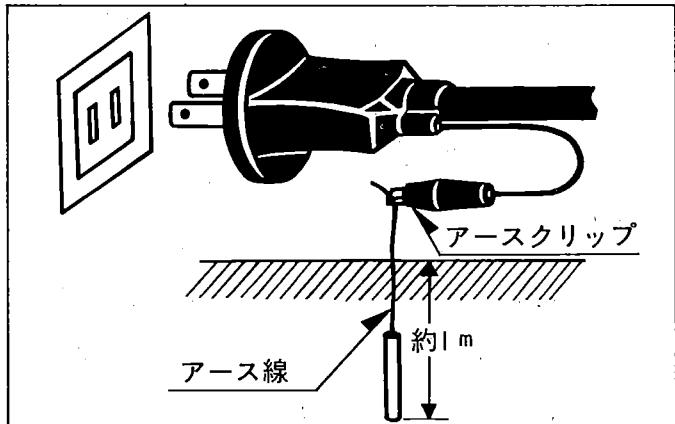
- まず差し込みプラグを電源につなぐ前に次の事項に注意して下さい。
- 必ず銘板に記載されている電圧でご使用下さい。
  - 差し込みプラグを差し込む前にはスイッチが切れている状態か確認して下さい。

## ●特長

- ダイカストフレームにより堅牢で丈夫なボディ。（W-55DA・55DS・66D）
- 182ミリ丸鋸クラスで一番切込み深さが深く64ミリまで切れます。（W-66・66D）
- 誰にも片手で楽々と使え、木材から石材まで巾広い用途。
- 定盤の切断案内面を墨打線に合せれば正確な切断が出来ます。
- 0~45度の傾斜切断も容易に出来ます。
- W-55DSはスイッチを切ると瞬時に丸鋸回転が停止するブレーキ付ですので、安全作業ができます。

- 工場で組立の際はすぐお使いできるよう鋸刃を締めていますが念のため確めて下さい。万一運送中に丸鋸刃を固定している座付六角ボルトがゆるんでいるような場合は附属のスパナで締直して下さい。

- 感電事故を防止する為、ご使用に先だちコード端にあるアースクリップを接地して下さい。  
(W-55D A、W-55D S、W-66D)

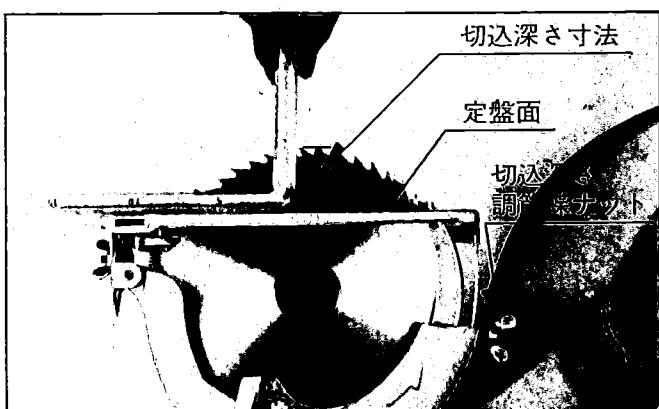
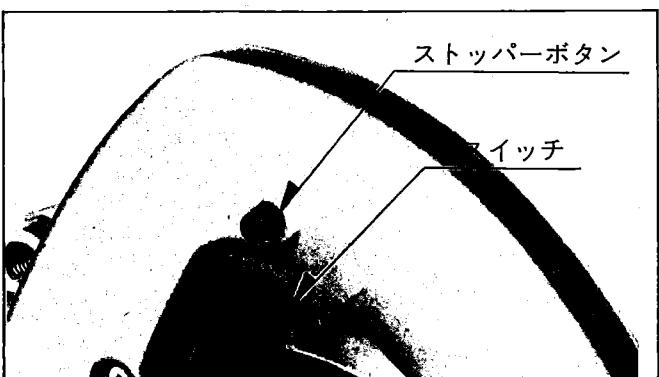


## ● スイッチ

- スイッチ操作はスイッチを引くと入り、離すと切れます。又スイッチを引いた状態で握り部の側面にあるストッパー ボタンを押すとスイッチより指を離してもスイッチは入ったままになります。この場合再度スイッチを引くとストッパー ボタンが外れスイッチは切れます。連続ご使用の場合はこのストッパー ボタンをご利用下さい。

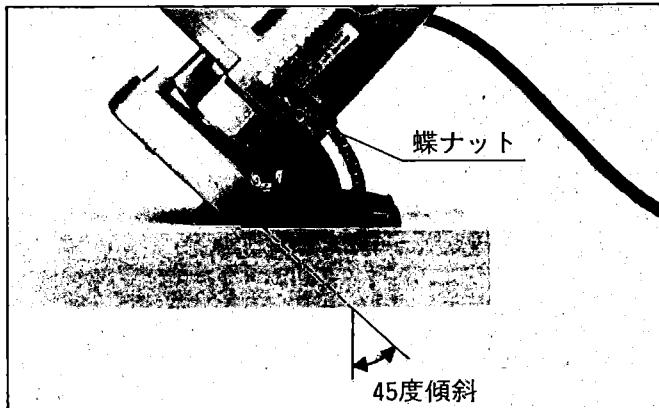
## ● 切込み深さの調節

- 切込み深さ調節蝶ナットをゆるめますと定盤が上下に移動します。
- お望みの切込み深さに位置を決め、切込み深さ調節蝶ナットをしっかりと締めて固定して下さい。
- 切込み深さ寸法は定盤面から出ている丸鋸刃の寸法を測って決めます。



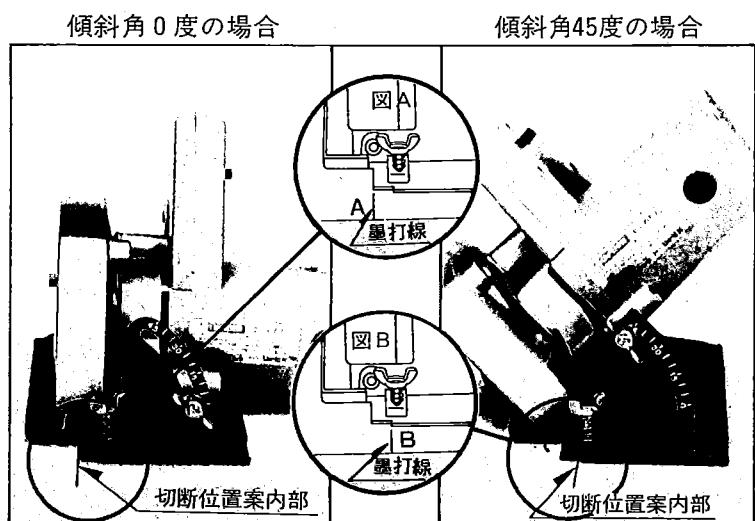
## ● 傾斜角の調整

- 傾斜目盛の蝶ナットをゆるめ調節します。
- 鋸刃は0~45度まで傾けて切断することができます。
- 傾斜角度を決めたら必ず蝶ナットを締付け固定して下さい。



## ● 切断位置

- 傾斜角0度の場合は定盤先端の切断位置案内部(図Aの位置)を墨打線に添わせて加工して下さい。
- 傾斜角45度の場合(図Bの位置)を墨打線に合わせて下さい。

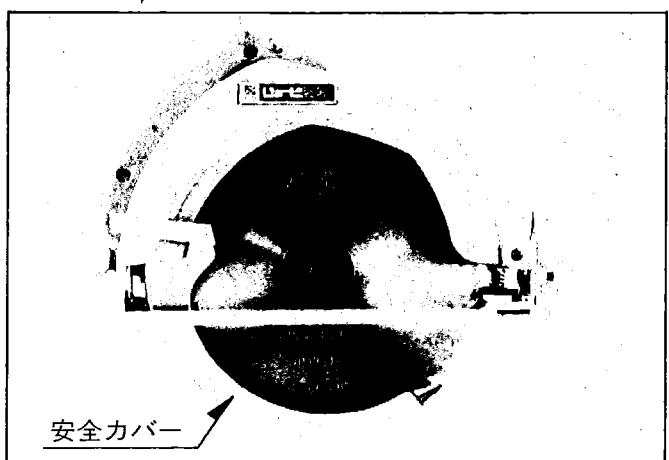


## ● 安全カバー

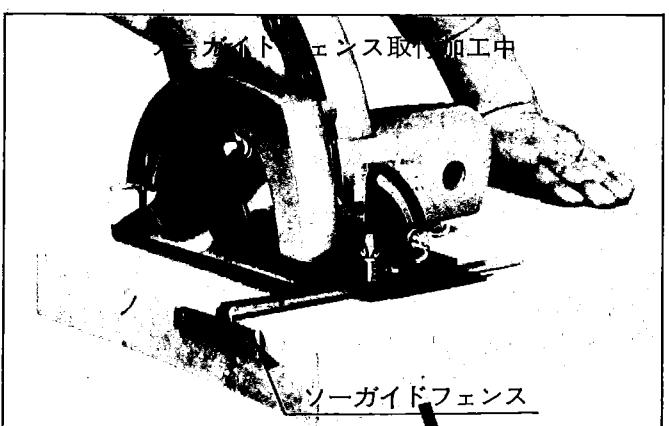
- 事故を未然に防ぐため安全カバーを付けてあります。
- 安全カバーは作業中自動的に持上り、作業が終る時は自動的に鋸刃を覆いますので安全な作業が出来ます。

## ● ソーガイドフェンスの応用

- 墨打の必要がなく同寸法の加工が連続に出来ます。
- 切断巾寸法は丸鋸刃とソーガイドフェンスの案内面までの寸法によって決めます。
- ソーガイドフェンスは左右どちらにでも付けられます。

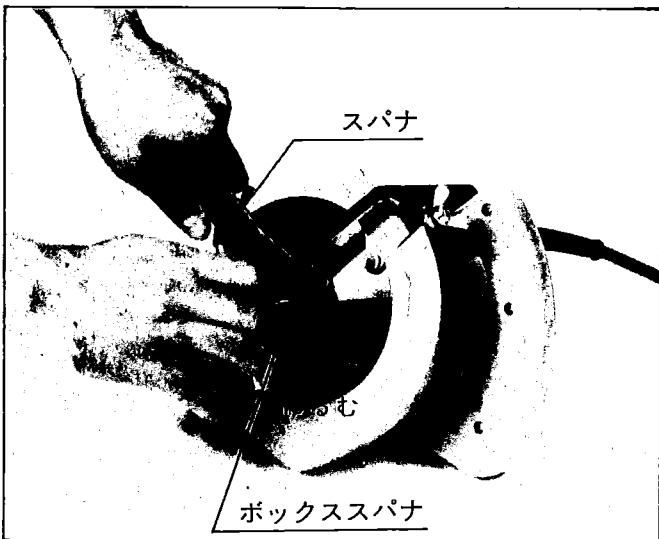


- 巾広い材料を切断する場合はソーガイドフェンスを取り外し定盤の切断位置案内部を墨打線に合わせて切断して下さい。

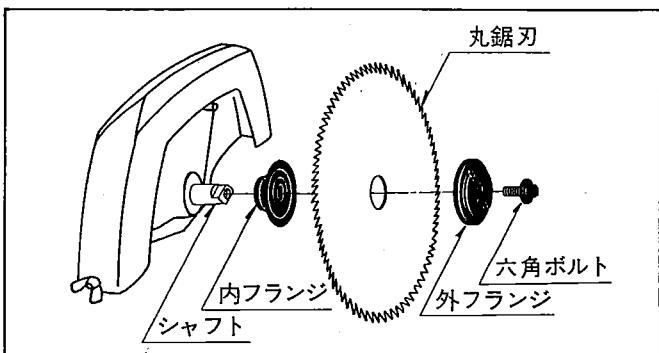


## ●鋸刃の取付け・取外し

- 取外し
- 万一の事故に備えて必ず差し込みプラグを電源からはずして下さい。
- 附属品のスパナとボックススパナにて六角ボルトをゆるめます。

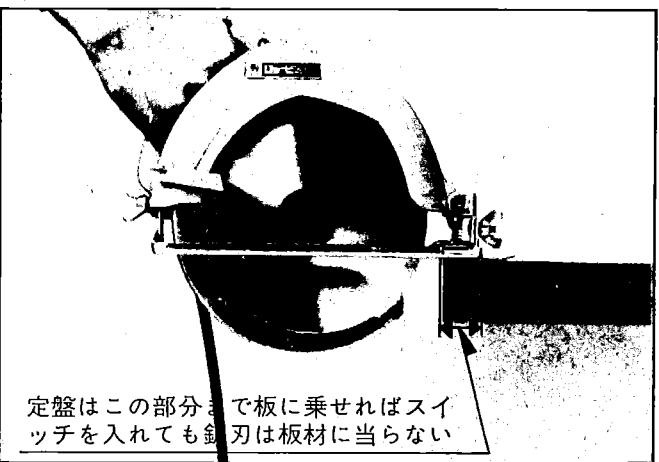


- 次に安全カバーをセフティガードに添わせ移動します。
- 六角ボルト、外法兰ジ、丸鋸刃の順で取外します。
- 取付けは取外しの逆要領で行って下さい。
- 取付けの際は丸鋸刃の回転方向を間違わないようご注意下さい。



## ●切断の要領

- 木材の上に定盤面をのせ鋸刃が木材に触れない状態でスイッチを入れます。
- 鋸刃の回転が上り一定の回転になりますたら定盤面を木材に密着させ静かに前方へ押し進め、切断を行います。



## ●作業の心得

- ひき肌を一様にするためには進め方を一定の速さに保つことが大切です。
- 材料の質に合った切断作業を行って下さい。(堅い物はゆっくり)

- ソーガイドフェンスは木材に軽く接触する程度にしてご使用下さい。
- 切断作業が過負荷になるのを避けるため目立直しを小まめに行って下さい。

## ●特別附属品(別販売)

### ●ミゾホリカッター

- 家具、建具等技術のいる細かいミゾ付加工も簡単にできます。

内径　　外径

20ミリ×3ミリ

20ミリ×3.9ミリ

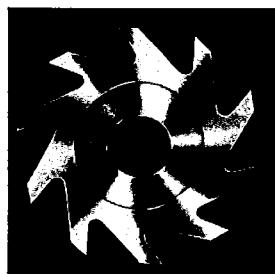
20ミリ×4.5ミリ

20ミリ×5.5ミリ

20ミリ×6ミリ

20ミリ×7.5ミリ

20ミリ×9ミリ



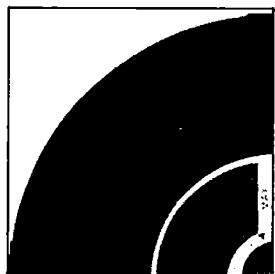
### ●非金属用切断砥石

- 非金属用切断砥石を取付けて石材、ブロック、レンガ、タイル、スレート等の切断ができます。

内径　　外径

20ミリ×150ミリ (W-55PA・55DA・55DS)

20ミリ×180ミリ (W-66・66D)



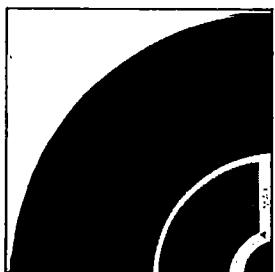
### ●金属用切断砥石

- 金属用切断砥石を取付けて、鉄・アルミニウム・ステンレス等の切断ができます。

内径　　外径

20ミリ×150ミリ (W-55PA・55DA・55DS)

20ミリ×180ミリ (W-66・66D)



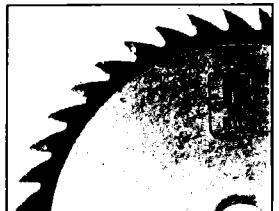
### ●チップソー

- 合成樹脂、非鉄金属、ベニヤ(合板)、硬木等の切断にご使用下さい。

内径　　外径

20ミリ×160ミリ (W-55PA・55DA・55DS)

20ミリ×180ミリ (W-66・66D)



### ●薄鉄板用丸鋸

- 薄鉄板(トタン等)の切断にご使用下さい。

内径　　外径

20ミリ×160ミリ (W-55PA・55DA・55DS)



### ●新建材用丸鋸

- 合成樹脂、ベニヤ(合板)、プラスチック、硬木などの切断にご使用下さい。

内径　　外径

20ミリ×160ミリ (W-55PA・55DA・55DS)



### ●アルミ切断用丸鋸

- 薄物アルミ製等の切断にご使用下さい。

内径　　外径

20ミリ×160ミリ (W-55PA・55DA・55DS)

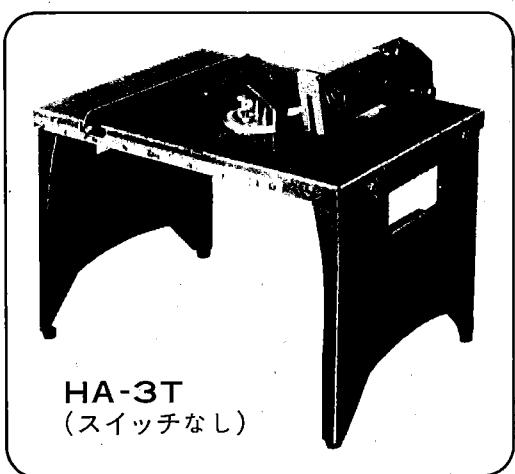
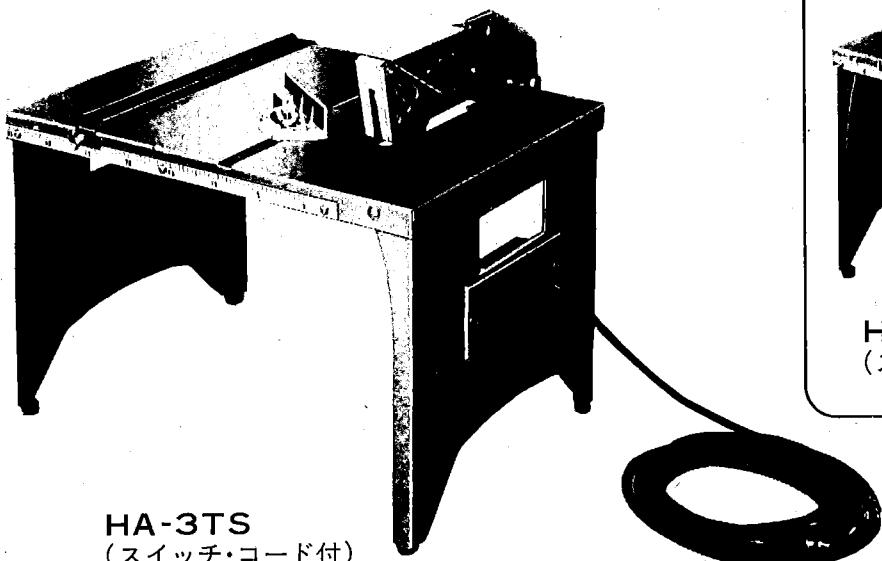


## ● ベンチスタンド(別販売)

安全カバーは必ず使用して下さい。

- ベンチスタンドに丸ノコを取付けて卓上型としてお使い下さい。小物切断が正確にできます。

- マイターゲージを利用すれば60度までの斜め切断もできます。



### ● 常時通電コンセント

このコンセントにプラグを差し込めば、常時通電の状態になりますから、機械本体のスイッチにて作動して下さい。

### ● 切換可能コンセント

機械に通電するときはスタンドのスイッチをONにして下さい。

## ● 切断

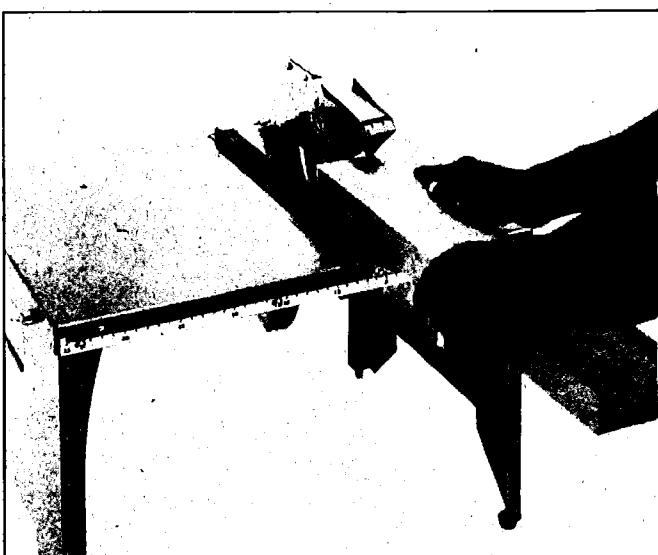
- 加工材を巾決め定規に軽く押しあてながら前方へ押し出して頂きますと切断が楽にできます。

※ベンチスタンドをご利用になる時は必ず安全カバーをご使用下さい。

※加工材はスタンドの定盤に密着した状態で前方に押し進めて下さい。

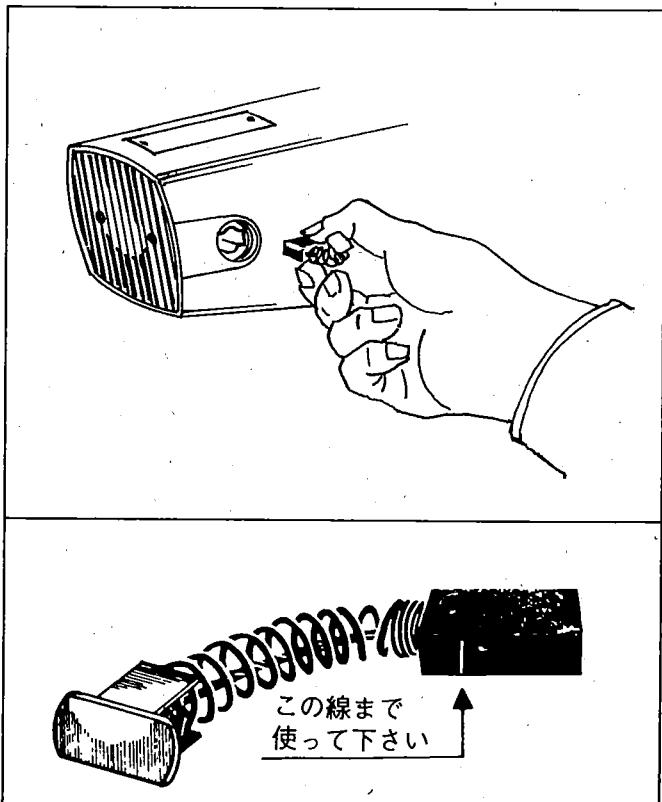
※加工材が浮き上がった状態では美しく切れません。

※詳しくはベンチスタンドの取扱説明書をご覧下さい。



## ● 使用後の手入れご注意

- カーボンブラシは全長の $\frac{1}{3}$ までご使用出来ますが、時々カーボンブラシを外して点検し、新しいカーボンブラシと交換してください。  
短いカーボンブラシをそのまま使っておりますとモーター焼損の原因になることがあります。
- カーボンブラシはブラシキャップをマイナスドライバーで取外せば簡単に取出せます。



部品ご入用、故障の場合、その他取扱い上ご不明の点があった場合にはご遠慮なく全国各地のリョービ電動工具販売店、リョービ東和各営業所にお問い合わせ下さい。

※改良のため製品仕様が変わる事があります。

発売元

**リョービ東和** 株式会社  
RYOBI

〒464 名古屋市千種区春岡通り7の49  
電話(052)761-5111

## 検査合格証

- この製品は、一貫した品質管理の基に組立てられ、厳密な検査に合格した製品です。

電気試験	機械検査	部品・包装
吉高	岡田	橋川

製造元

**リョービ** 株式会社  
RYOBI

〒726 広島県府中市目崎町762  
電話(0847)41-4111